

第 394 回昭和大学学士会例会

(保健医療学部会主催)

2023 年 7 月 8 日 (土) 13 : 00 ~ 15 : 53

昭和大学横浜キャンパス 104 教室

- 1) ご自分の体調をチェックした上で、ご参加ください。
- 2) 不織布マスクを着用のうえご来場ください。マスクは着用のままご聴講ください。
- 3) 受付で記帳後、会場に用意してあります手指消毒剤で消毒して場内にお入りください。
- 4) 会場内は適宜離れてご着席ください。
- 5) 換気のために、会場内のドアや窓を一部開けますことをご了承ください。

13 : 00 ~ 13 : 03 開会の挨拶

昭和大学保健医療学部長 鈴木 久義

I. 13 : 05 ~ 13 : 59

座長 保健医療学部リハビリテーション学科 准教授 渡邊 裕之

1. Dual Energy CT を用いた副腎腫瘍における良悪性の鑑別診断について (修士)
保健医療学研究科 医療技術分野 診療放射線学領域 石埜 靖一郎
2. フローダイバータステント留置前後の脳動脈瘤に対する
時間信号曲線 (Time Intensity Curve : TIC) を用いた血栓化評価の検討 (修士)
保健医療学研究科 医療技術分野 診療放射線学領域 高橋 拓也
3. 人工心肺時間 180 分以上症例における離脱直後のフィブリノゲン機能が
術中術後経過に及ぼす影響 ~ Perfusionist としての人工心肺中の管理の視点から ~ (修士)
保健医療学研究科 看護分野 看護マネジメント学領域 神崎 俊治
4. 遂行機能と機能的自立度評価法との関係 - 後方視的研究 - (修士)
保健医療学研究科 リハビリテーション分野 精神機能学領域 梶原 真樹
5. 新ロコモ度判定は、従来のロコモ度判定よりも転倒リスクを詳細に判断できる
骨粗鬆症患者における転倒リスクの比較 (学位甲)
医学研究科 医学専攻 医科薬理学分野 宮上 真

II. 14 : 01 ~ 14 : 55

座長 保健医療学部リハビリテーション学科 講師 大塚 裕之

6. 頭部 CT 画像における被殻出血の広がりからみた
回復期リハビリテーション病院退棟時 FIM の予測式 (修士)
保健医療学研究科 リハビリテーション分野 生体機能学領域 高木 誓也

7. クラシックバレエダンサーの無症状の脛骨跳躍型疲労骨折の発生率とその危険因子の調査
ークラシックバレエダンサーを対象にしたメディカルチェック時における横断研究ー (修士)
保健医療学研究科 リハビリテーション分野 運動機能学領域 上村 杏菜

8. 回復期リハビリテーション病棟入院中の初発脳卒中片麻痺患者における、
夜間睡眠状況と動作能力との関連 (修士)
保健医療学研究科 リハビリテーション分野 運動機能学領域 藤永 滯

9. 連続投球が体幹筋持久力および投球時の胸郭、肩関節運動に及ぼす影響 (学位甲)
保健医療学研究科 リハビリテーション分野 阿蘇 卓也

10. 急性期脳卒中患者における麻痺側下肢運動機能重症度別の下肢筋力・下肢筋量変化の検討
(学位甲)
保健医療学研究科 医系基礎・専門・教育分野 浜辺 峻弥

【14 : 55~15 : 05 休憩】

Ⅲ. 15 : 05~15 : 48 座長 保健医療学部看護学科 准教授 俵積田ゆかり

11. 行動抑制を開始する看護師の判断した理由とその思い (修士)
保健医療学研究科 看護分野 臨床看護ケア開発学領域 南部 恭子

12. リンクナースが生き活きと働く上で求められる支援について
ーワークエンゲージメントと周囲からのサポートとの関係からー (修士)
保健医療学研究科 看護分野 看護マネジメント学領域 菊田 一夫

13. 回復期リハビリテーション看護師が捉える自らの看護実践の特徴 (修士)
保健医療学研究科 看護分野 臨床看護ケア開発学領域 塘地 正美

14. 認知症高齢患者へのシャワー浴が患者と看護師に与える気分の変化と生理学的影響 (学位甲)
保健医療学研究科 医系基礎・専門・教育分野 龍 由季乃

15 : 50~15 : 53 閉会の挨拶 昭和大学大学院保健医療学研究科長 三村 洋美

※ 座長の交代時に 2 分、発表の交代時に 1 分時間を取っています

※ 学位論文内容発表：発表 8 分 - 質疑応答 2 分

1 鈴 発表時間終了 1 分前 7 分経過時

2 鈴 発表時間終了、質疑応答開始 8 分経過時

3 鈴 質疑応答時間終了、持ち時間終了 10 分経過時

【学士会運営委員会・学術部担当委員】

山野優子先生

【学士会例会担当委員】

久保美紀先生、和智志げみ先生、根本慎司先生、佐藤範明先生、渡邊真理奈先生